

就労選択支援事業については、令和6年9月に厚生労働省の鈴木専門官をお呼びしての研修・令和7年2月には制度の最新情報と情報共有の場・5月には実務担当を担う代表者を集めての現状と課題の共有・7月には厚生労働省の鈴木専門官からの最新情報をお聞きするリモート研修など、十勝での準備を進めてまいりました。

今回の研修では、他地域での取り組みを参考に、十勝の関係機関を取り巻く課題を検討しました。

就労選択支援 Startup セミナー 起動

開催報告

第1部 実践報告 相談支援と共同した地域へのアプローチについて

地域づくりコーディネーターとして活躍されている加納さんは地域の情報の分析や自立支援協議会への働きかけなどを行っています。小樽市以外は資源も少なく、地域に就労選択支援事業所が立ち上がらないことを想定した地域づくりを行ってこれました。

その中で、「就労だけがすべてではない」と反対意見が上がるなど、就労選択支援の理念の共有が難しかったお話もありました。

就労選択支援事業所が立ち上がらない可能性のある地域の行政機関とは、既存のB型を活用した際の協力体制について、何らかの補助をする方向のアイデアも出ているとのことでした。それぞれの地域事情を考え対応していくために、課題や地域に必要なこと、人材の活かし方など改めて見直すことが、就労支援の質につながっていくと感じたとのことでした。



小樽地域障がい者相談支援センターさぼーとひろば
地域づくりコーディネーター
加納 太晃 氏



石狩障がい者就業・生活支援センターのいけるセンター長 吉田 志信 氏

就労支援機関と考える就労アセスメントの実施

就業・生活支援センターのいけるの役割と機能として、ネットワーク・普及啓発・地域支援・機関支援が柱に挙げられています。就労選択支援を通して地域における就労支援システム全体の質を高めるため、各関係機関が意義を理解して連携を強化する活動を行っています。また、就労選択支援については事業所があるだけでは機能せず、地域全体での仕組みづくりが大切だとおっしゃっていました。その地域の仕組みづくりの例として、中立公平性の視点のため、協議会等における共通のルールの構築・ご本人への情報を保証するためのリーフレットの作成・サービス提供事業所に求められる倫理観向上のための規定の作成等について検討されています。事業所が乱立する恐れのある札幌市は独自の指定基準を設けるなど、地方とは違った課題があります。利用者が自ら考え、選び、納得できるプロセスを歩むための就労選択支援の理念が守れるよう、地域性を活かした体制整備が必要だとおっしゃっていました。

第2部 パネルディスカッション

新制度を切り口とした地域作りの展望を考える

第1部の講師に加え、就労選択支援事業所の立場を代表し十勝さすな代表の池田さん、帯広市基幹相談支援センターの串崎さん、幕別町基幹相談支援センターの村田さんに登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。

池田さんからは、就労選択支援を受けたい方が困らないで利用できるよう、不安を抱えながらも立ち上げを決断した思いを伺いました。相談支援の立場からは、制度を利用するために短期間のみマネジメントをするような場合、煩雑さに追われるだけではなく、その間に何ができるのか、その後対応が続かない場合はどうなるのかなど、不安を抱えている声があるお話を伺いました。

それぞれの不安の解消のためにも、地域に就労選択支援事業のガイドラインがあると良いというアドバイスがあり、アセスメントの質・ご本人への情報の保障・各関係機関の役割・サービス提供事業者の倫理観など、地域における仕組み作りをしていく事の大切さを知ることができました。また、後志圏域は事業所が立ち上がらないことを前提にした仕組みづくりをしていることから、十勝の町村における参考になるお話でした。



今回は、実践的な相談支援に携わる方の取り組みと地域における仕組みづくりの実践内容を発表いただき、十勝としてどのような体制整備が必要なのかを考える機会になりました。

現在十勝管内では特別支援校の2年生34名(R7.5の見込み数)に加え、引きこもりから社会に1歩踏み出そうとしている方、退院後地域での生活を送ろうとしている方など、就労選択支援の対象となる方が支援を待っている状況です。

また、9月12日より事業所の申請が始まった段階で、まだ行われていないサービスをどのように希望すればよいのかという声も聞かれます。就労選択支援は進路を決めるものではなく、ご本人が自分の特性や可能性を理解し進路を選ぶ力を育てるサービスです。ご本人が自分の進路を選択できるための支援が切れ目なく提供できる地域のため、十勝管内の19市町村それぞれにどのような仕組みが必要なのかを引き続き皆さんと一緒に考えていきたいと思います。